第２４回高校生ものづくりコンテスト全国大会実施要項

１　趣　旨

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

公益社団法人全国工業高等学校長協会（以下、全工協会という）では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習効果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、過去２２回実施した。

第１２回大会より全国９地区を廻っての開催となり、今回は東北地区において、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の８部門で実施する。

２　日　程

(1)　令和６年１１月９日（土）

９時００分 関係者集合
９時３０分 会場等準備
１２時００分 受付
１２時３０分 部門ごと打ち合わせ（説明・練習作業等）
１５時００分 来賓・審査員受付
１６時００分 開会式
１７時００分 解散

(2)　令和６年１１月１０日（日）

８時００分 関係者集合
８時２０分 受付
９時００分 競技開始
１１時３０分 競技終了、片付け、昼食
１４時３０分 閉会式、記念撮影
１５時３０分 解散、後片付け

３　会　場

(1)　開・閉会式　各競技会場

(2)　競技会場

部　門	会　場
旋盤作業	岩手県　岩手職業能力開発促進センター（ポリテクセンター岩手） 〒025-0001　岩手県花巻市天下田 69-1　TEL 0198-23-5354
自動車整備	宮城県　学校法人　角川学園　専門学校　花壇自動車大学校 〒980-0815　宮城県仙台市青葉区花壇 8-1　TEL 022-222-3838
電気工事	宮城県　宮城職業能力開発促進センター（ポリテクセンター宮城） 〒985-8550　宮城県多賀城市明月 2-2-1　TEL 022-362-2253
電子回路組立	福島県　福島県立平工業高等学校 〒970-8032　福島県いわき市平下荒川字中剃 1-3　TEL 0246-28-8281
化学分析	岩手県　岩手県立盛岡工業高等学校 〒020-0841　岩手県盛岡市羽場 18 地割 11-1　TEL 019-638-3141
木材加工	山形県　山形県立山形職業能力開発専門校 〒990-2473　山形県山形市松栄 2-2-1　TEL 023-644-9227
測　量	青森県　青森県立青森工業高等学校 〒039-3507　青森県青森市大字馬屋尻字清水流 204-1　TEL 017-737-3600
溶　接	秋田県　秋田職業能力開発促進センター（ポリテクセンター秋田） 〒010-0101　秋田県潟上市天王字上北野 4-143　TEL 018-873-3177

４　主　催　公益社団法人全国工業高等学校長協会

５　主　管　東北地区工業高等学校長会

６　共　催　青森県教育委員会　岩手県教育委員会　秋田県教育委員会　宮城県教育委員会
山形県教育委員会　福島県教育委員会　仙台市教育委員会　（申請予定、順不同）

７　後　援　文部科学省　経済産業省　厚生労働省　国土交通省　農林水産省（公財）産業教育振興中央会
（公財）日本自動車教育振興財団　中央職業能力開発協会　（一社）日本溶接協会
（申請予定、順不同）

8　参加資格

(1)　全工協会会員校に在籍し、卒業後の進路先を報告できる生徒とする。

(2)　次の保険に加入していること。

①　独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済

②　産業教育振興中央会賠償責任保険

③　産業教育振興中央会傷害保険

※ ただし、②③の費用については主催者が負担する。

9　競技部門及び生徒

(1)　競技部門及び出場選手数

部　門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
旋盤作業	9	1	１０
自動車整備	9	1	１０
電気工事	9	1	１０
電子回路組立	9	1	１０
化学分析	9	1	１０
木材加工	9	1	１０
測量	２７（9組）	３（1組）	３０（１０組）
溶接	9	1	１０
合　計	９０名	１０名	１００名

(2)　出場者の決定

①　出場者は、全工協会が組織する全国９地区及び開催地の校長会から推薦された生徒とする。
その選出方法は、該当校長会に一任する。

②　各地区及び開催地から推薦できる出場者を、令和６年９月１３日（金）までに、所定の用紙を用いて実行委員長まで報告すること。

10　表　彰

(1)　各賞

表彰は部門ごとに表彰するものとし、全工協会理事長賞を授与する。
ただし、各省庁、(公財)産業教育振興中央会については申請予定。
また、各部門第１位から第３位までは、評価結果を公表し表彰する。それ以外は総合点だけ公表する。

(2)　ジュニアマイスター顕彰制度の得点対象

各部門第１位から第３位は、ジュニアマイスター顕彰制度の得点として申請することができる。

(3)　各部門第４位以下については、敢闘賞を授与する。

11　審　査

(1)　審査基準の策定と公表

①　審査基準は、事前に策定し公表する。

②　審査員は、審査基準にしたがい審査判定する。

③　同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく。

(2)　審査員

審査員は、企業の技術者、学識経験者などに委嘱するものとし各部門３名を基本とする。

12　費　用

(1)　大会参加費無料

(2)　補助金

①　交通費 一定の割合額を補助する。

②　宿泊費 一定額を補助する。

③　引率教員への補助はしない。

13　競技規定

(1)　各競技とも課題に併記する。

(2)　全工協会の Web ページに掲載する。

14　その他

宿泊場所は、各自で予約する。

15　問合せ

(1)　公益社団法人 全国工業高等学校長協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500　FAX 03-3261-2635

(2)　実行委員長　秋田県立秋田工業高等学校 校長 佐藤　貴文
〒010-0902　秋田県秋田市保戸野金砂町 3-1
TEL 018-823-7326　FAX 018-823-7328

(3)　大会事務局　秋田県立秋田工業高等学校 教頭 大山　厚
〒010-0902　秋田県秋田市保戸野金砂町 3-1
TEL 018-823-7326　FAX 018-823-7328

(4)　運営等に関する問合せ先
monocon-akita@e-akita.ed.jp

(5)　競技課題に関する問合せ先
monocon-QA@e-akita.ed.jp